



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月9日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4323 URL http://www.jast.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平林 武昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

百万円未満切捨て

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,558	2.5	34	△55.7	53	△52.9	42	△30.1
27年3月期第2四半期	5,424	8.3	78	—	114	440.6	60	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 5百万円 (△88.0%) 27年3月期第2四半期 44百万円 (180.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	8.05	—
27年3月期第2四半期	11.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	9,159	5,262	56.9	992.21
27年3月期	8,717	5,433	61.4	1,020.03

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 5,207百万円 27年3月期 5,353百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	6.0	560	54.0	620	42.2	292	27.7	55.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	5,612,230株	27年3月期	5,612,230株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	364,210株	27年3月期	364,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	5,248,020株	27年3月期2Q	5,247,488株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
5. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、売上高55億58百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益34百万円(前年同期比55.7%減)、経常利益53百万円(前年同期比52.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円(前年同期比30.1%減)と、過去最高益となった前年同期と比較して増収減益となったものの、当初計画を上回る結果となりました。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業(受注ソフトウェアの個別受託開発)につきましては、通信業及びサービス・流通業向け案件は増加いたしました。官公庁及び製造業、金融・保険・証券業、教育機関向け案件が減少し、売上高38億56百万円(前年同期比0.5%減)、営業損失20百万円(前年同期は営業利益1億43百万円)の減収減益となりました。

次に、パッケージ事業(学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス)につきましては、仕入販売及びEUC(End User Computing:パッケージの周辺システムの受託開発)は減少いたしました。大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売、導入支援及び運用サービスが増加し、売上高10億36百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益1億22百万円(前年同期比140.9%増)の増収増益となりました。

次に、システム販売事業(IT機器の販売及び情報通信インフラの構築)につきましては、大学向け機器販売は減少いたしました。公共系SI(システム・インテグレーション)案件が増加し、売上高4億33百万円(前年同期比4.4%増)、営業損失23百万円(前年同期は営業損失39百万円)となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)につきましては、レセプト自動点検サービスに加え、分析・医療費通知サービス及び点検業者向けクラウドサービス、データヘルス計画支援サービス等のサービス拡充により、売上高2億32百万円(前年同期比49.5%増)、営業損失42百万円(前年同期は営業損失76百万円)となりました。

(当社グループの四半期業績の特性)

当社グループの事業であるソフトウェア、パッケージ及びシステム販売の特性といたしましては、顧客の検収時期が多くの企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期連結会計期間の収益は、第2、第4四半期連結会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は66億71百万円(前連結会計年度末比4億70百万円増)となりました。これは主として短期借入の実行並びに前受金の増加により現金及び預金が増加したためであります。また、固定資産の残高は24億87百万円(同29百万円減)となりました。

次に、流動負債の残高は26億9百万円(同5億83百万円増)となりました。これは主として短期借入の実行及び前受金の増加によるものであります。また、固定負債の残高は12億87百万円(同29百万円増)となりました。これは主として退職給付に係る負債の増加によるものであります。

最後に、純資産の合計残高は52億62百万円(同1億70百万円減)となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の状況は、期首の資金残高15億59百万円より9億30百万円増加し、24億90百万円(前第2四半期連結累計期間末残高は17億55百万円)となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、6億60百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は6億18百万円の支出)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが12億78百万円増加した要因は、売上債権の回収にかかる収入及び前受金が増加したこと等によるものであります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、31百万円の支出(同72百万円の支出)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが41百万円増加した要因は、差入保証金の支出が減少したこと等によるものであります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、3億0百万円の収入(同3億4百万円の収入)となり、前年同四半期連結累計期間に比べ、4百万円の収入減となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益並びに雇用・所得環境の改善傾向が続く中で各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調を維持しておりますが、世界経済においては中国をはじめとした主要新興国の経済成長の鈍化、海外景気の下振れ要素もあり、依然として景気の停滞・下押しのリスクが残っております。

国内IT産業につきましては、直近の統計(経済産業省、特定サービス産業動態統計8月確報)において、売上高前年同月比が、平成25年8月からプラス傾向を継続しており、業界全体として緩やかな拡大基調にあると認識しております。

このような状況の中、当社グループでは、年度スローガンのキーワードとして「かつてない領域へ踏み出そう」を掲げ、一人ひとりがこれまで培ってきた当社の強みは活かしつつ、勇気をもって、かつてない領域(内なる領域:かつてない品質の実現・スキルの獲得・生産性の向上など、外の領域:かつてないビジネスの成功・高価格の実現・評判の獲得・地域への展開など)に踏み出すことで、受託開発型ビジネスの受注量増加及び収益性向上と、自社ブランド製品を核とする当社主導型ビジネスの一層の拡大を伴った継続的成長を目指してまいります。

これらを踏まえ、平成28年3月期の連結業績予想は、平成27年5月14日発表のとおり、売上高122億円(前連結会計年度比6.0%増)、営業利益5億60百万円(同54.0%増)、経常利益6億20百万円(同42.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億92百万円(同27.7%増)の増収増益を見込んでおります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、上海嘉峰信息科技有限公司への出資金の払込を終え、外資投資企業としての一連の手続きを完了したことにより、同社を新たに連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が39,517千円減少しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,762,276	3,685,691
受取手形及び売掛金	2,783,536	2,255,111
商品及び製品	59,362	61,065
仕掛品	278,704	344,984
原材料及び貯蔵品	3,066	1,830
繰延税金資産	202,070	212,116
その他	116,390	113,270
貸倒引当金	△4,519	△2,208
流動資産合計	6,200,887	6,671,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	612,788	616,203
減価償却累計額	△271,071	△290,417
建物及び構築物(純額)	341,716	325,786
土地	142,361	142,361
その他	288,023	293,240
減価償却累計額	△189,891	△202,921
その他(純額)	98,131	90,319
有形固定資産合計	582,210	558,467
無形固定資産		
のれん	18,001	14,001
ソフトウェア	149,314	136,194
その他	7,189	7,189
無形固定資産合計	174,505	157,385
投資その他の資産		
投資有価証券	580,032	578,757
退職給付に係る資産	481,576	490,466
繰延税金資産	57,219	55,389
差入保証金	342,917	343,732
その他	352,690	357,585
貸倒引当金	△54,288	△54,288
投資その他の資産合計	1,760,149	1,771,643
固定資産合計	2,516,865	2,487,496
資産合計	8,717,753	9,159,359

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	751,992	580,491
短期借入金	23,367	517,307
1年内返済予定の長期借入金	1,800	600
未払法人税等	84,486	44,195
賞与引当金	446,267	474,466
役員賞与引当金	20,624	12,364
その他	697,818	980,278
流動負債合計	2,026,357	2,609,703
固定負債		
役員退職慰労引当金	350,248	361,636
退職給付に係る負債	772,160	799,765
その他	135,979	126,205
固定負債合計	1,258,387	1,287,608
負債合計	3,284,745	3,897,311
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,076,669	1,076,669
資本剰余金	1,038,308	998,790
利益剰余金	3,299,968	3,210,992
自己株式	△266,539	△266,539
株主資本合計	5,148,407	5,019,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,263	59,961
為替換算調整勘定	△9,647	△10,051
退職給付に係る調整累計額	153,109	137,338
その他の包括利益累計額合計	204,724	187,248
非支配株主持分	79,875	54,885
純資産合計	5,433,007	5,262,048
負債純資産合計	8,717,753	9,159,359



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,424,082	5,558,484
売上原価	4,371,897	4,440,969
売上総利益	1,052,184	1,117,515
販売費及び一般管理費	973,245	1,082,517
営業利益	78,939	34,997
営業外収益		
受取利息	5,623	3,327
受取配当金	3,203	3,069
受取賃貸料	7,776	6,907
助成金収入	15,576	250
その他	11,133	11,278
営業外収益合計	43,312	24,833
営業外費用		
支払利息	517	789
賃貸費用	5,856	4,565
その他	1,388	584
営業外費用合計	7,762	5,939
経常利益	114,489	53,891
税金等調整前四半期純利益	114,489	53,891
法人税等	54,746	31,316
四半期純利益	59,743	22,575
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△637	△19,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,381	42,224

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	59,743	22,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,725	△1,302
為替換算調整勘定	△3,942	△125
退職給付に係る調整額	△9,388	△15,770
その他の包括利益合計	△15,056	△17,198
四半期包括利益	44,686	5,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,001	24,748
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,314	△19,371

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	114,489	53,891
減価償却費	35,575	38,435
ソフトウェア償却費	12,361	18,758
のれん償却額	4,157	10,928
賞与引当金の増減額(△は減少)	△103,104	28,137
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,290	27,634
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△7,341	△8,889
受取利息及び受取配当金	△8,826	△6,397
支払利息	517	789
売上債権の増減額(△は増加)	△61,527	526,102
前受金の増減額(△は減少)	220,425	377,365
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,747	△66,749
仕入債務の増減額(△は減少)	△211,890	△171,500
その他	△248,095	△98,804
小計	△344,715	729,702
利息及び配当金の受取額	8,687	7,939
利息の支払額	△574	△755
法人税等の支払額	△281,671	△76,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	△618,274	660,222
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△6,587	6,843
有形固定資産の取得による支出	△15,465	△10,042
ソフトウェアの取得による支出	△4,417	△21,849
投資有価証券の取得による支出	△1,272	△1,135
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の払込による支出	—	△2,007
差入保証金の差入による支出	△45,630	△1,100
差入保証金の回収による収入	1,606	294
その他	△1,077	△2,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,844	△31,097
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	428,947	493,954
リース債務の返済による支出	—	△11,157
長期借入金の返済による支出	△1,200	△1,200
株式の発行による収入	9,932	—
配当金の支払額	△130,750	△131,200
非支配株主への配当金の支払額	△2,435	△2,324
連結の範囲の変更を伴わない関係会社出資金の払込による支出	—	△48,000
その他	△134	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	304,359	300,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,807	1,293
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△388,566	930,491
現金及び現金同等物の期首残高	2,144,070	1,559,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,755,504	2,490,235

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	3,875,016	978,152	415,066	155,846	5,424,082	—	5,424,082
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,230	—	56,533	—	86,763	△86,763	—
計	3,905,246	978,152	471,599	155,846	5,510,845	△86,763	5,424,082
セグメント利益 又は損失(△)	143,914	50,805	△39,364	△76,416	78,939	—	78,939

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益又は損失の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	3,856,134	1,036,262	433,141	232,947	5,558,484	—	5,558,484
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	45,727	—	7,387	—	53,115	△53,115	—
計	3,901,861	1,036,262	440,528	232,947	5,611,599	△53,115	5,558,484
セグメント利益 又は損失(△)	△20,916	122,376	△23,255	△42,877	35,327	△329	34,997

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	3,359,121	103.7
パッケージ事業 (千円)	606,997	103.7
システム販売事業 (千円)	319,058	83.9
医療ビッグデータ事業 (千円)	155,791	92.6
合計 (千円)	4,440,969	101.6

(注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	4,299,737	106.0	1,711,549	139.4
パッケージ事業 (千円)	1,088,204	82.3	656,441	88.4
システム販売事業 (千円)	438,011	82.1	214,701	78.6
医療ビッグデータ事業 (千円)	297,527	269.0	274,232	174.0
合計 (千円)	6,123,480	101.7	2,856,925	119.0

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	3,856,134	99.5
パッケージ事業 (千円)	1,036,262	105.9
システム販売事業 (千円)	433,141	104.4
医療ビッグデータ事業 (千円)	232,947	149.5
合計 (千円)	5,558,484	102.5

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱ (注) 4	526,127	9.7	701,120	12.6
T I S ㈱	259,925	4.8	271,707	4.9
㈱ダスキン	325,693	6.0	261,922	4.7

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. 平成26年7月1日よりエヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱は、エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本㈱を含む地域グループ5社を吸収合併しております。これに伴いエヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱向けの販売実績は、エヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱及びエヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本㈱向けの販売実績を集計して表示しております。